

臨床研究に関する情報公開

福井大学医学部内科学(1) 教室では、倫理審査委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。なお2011年11月1日から2021年3月までに当院で発熱性好中球減少症と診断されドリペネムで治療を受けた患者さんで、データの使用を拒否される場合には下記問い合わせ先へご連絡ください。ご連絡いただいた時点より集計対象から除外することを保障いたします。

福井大学医学部内科学(1)

【研究課題名】発熱性好中球減少症に対するドリペネムの有効性と安全性に関する後方視的研究

【研究期間】承認日から2021年3月31日まで

【研究の意義・目的】発熱性好中球減少症に対しては広域の抗生剤、特に緑膿菌に対して感受性を持つ抗生剤が経験的治療として用いられています。ドリペネムは抗緑膿菌活性が高く、耐性菌を増殖させにくい薬剤とされており、発熱性好中球減少症に対してすでに日常診療においては多くの施設で使用されていますが、発熱性好中球減少症に対するエビデンスは少ないのが現状です。本研究はエビデンスとして有用であると考えられ、後方視的に有効率と有害事象発生率を検討することといたしました。

【研究の方法】 福井大学医学系研究倫理審査委員会承認日までに発熱性好中球減少症を発症し、ドリペネムで治療された患者さんを対象とします。血液検査所見や臨床症状、画像検査所見を匿名で集計し有効率と有害事象発生率を解析します。

【利益相反について】

利益相反とは、外部との経済的な利益関係（資金提供など）によって、研究データの改ざん、特定企業の優遇など研究が公正かつ適切に行われていないのではないか（企業に有利な結果しか公表されないのではないか）と第三者から懸念されかねない事態のことをいいます。

この研究は、特定の企業や団体から研究資金や給与・謝金など、特別な便宜を受けていないことを福井大学臨床研究利益相反審査委員会に全て報告し、利益相反状態でないと判定されています。研究を公正に遂行し、対象となる方に不利益になることや、研究結果を歪めることは一切いたしません。

【研究組織】 実施責任者 内科学(1) 助教 伊藤和広
研究分担者 内科学(1) 教授 山内高弘

感染制御部 教授 岩崎博道

【本研究に関する問合せ先】 本研究は、情報を匿名化して取り扱い、個人情報 を 厳重に保護して行います。なお、本研究や保有する個人情報に関するお問合せ等がございましたら、下記へご連絡ください。

○ 問合せの窓口

〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月 23-3

福井大学医学部内科学(1) 伊藤和広

電話:0776-61-8343 Fax:0776-61-8109 E-mail:kitoh@u-fukui.ac.jp

○ 苦情の窓口

〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月 23-3

福井大学医学部附属病院医学研究支援センター

電話：0776-61-8529

受付時間：平日 8：30～17：15（年末年始、祝・祭日除く）